

## 指定管理者評価シート

事業名	サッポロさとらんど運営管理費	所管課(電話番号)	経済観光局農政部農政課(211-2406)
-----	----------------	-----------	-----------------------

### I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市農業体験交流施設(サッポロさとらんど)	所在地	札幌市東区丘珠町584番地2
開設時期	平成7年(1995年)7月22日	延床面積	743,000m <sup>2</sup> (管理面積558,000m <sup>2</sup> )
目的	市民文化の向上及び農業の振興		
事業概要	農業に関する体験実習の場の提供、緑とのふれあい、憩う場の提供等		
主要施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さとらんどセンター(農産・畜産加工室、会議室、売店、レストラン他)</li> <li>・さとらんど交流館(多目的ホール、調理室、会議室)</li> <li>・市民農園 各種体験農場 ふれあい牧場</li> </ul>		
2 指定管理者			
名称	さとみらいプロジェクトグループ(雪印種苗㈱、大星ビル管理㈱)		
指定期間	平成30年(2018年)4月1日～令和5年(2023年)3月31日		
募集方法	公募		
指定単位	施設数: 1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	施設・設備等の維持に関する業務、農業体験に関する業務、緑とのふれあい、憩うことのできる場を市民に提供する業務、農業者と消費者の交流の場を提供する業務、農業に関する情報の収集・提供業務、農業に関する研修講習等の場の提供業務、使用承認等に関する業務、その他さとらんど設置目的を達成するため必要な業務		
3 評価単位	施設数: 1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

### II 令和4年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価				
1 業務の要求水準達成度							
(1) 統括管理業務	▼ 管理運営に係る基本方針の策定 「さとみらいプロジェクトグループ」は、1.経費の効率化と効果的運用、2.食と農に関する情報発信、体験学習事業の充実、3.農業への理解を広げるイベント、施設の魅力向上への取組み、4.健全かつ良好な空間づくり、5.市民が安全安心に利用できる管理運営、6.民間企業のノウハウを活かした運営の効率化、7.事業運営の透明性確保 といった基本方針を策定し、基本方針に基づいて適切な管理運営を行った。	策定した基本方針を実現し、適切な管理運営を行った。	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">A</td> <td style="width: 25%;">B</td> <td style="width: 25%;">C</td> <td style="width: 25%;">D</td> </tr> </table> さとらんどの設置目的及び基本的方向性を実現するための基本方針に基づき、良好な管理運営を行ったものと評価する。	A	B	C	D
	A	B	C	D			
	▼ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 ①コンプライアンス(法令遵守)の徹底に基づく運営と利用の場の確保、②各種規程による平等利用の確保と従業員教育による安定的なサービスの提供、③ホームページの充実による情報発信機能の強化といった方針を策定した。「各種体験」「講座」等の利用受付は先着順で行う等、常に平等利用を確保し、公平・公正を意識した運営を行った。	全体をとおして利用者の平等利用を確保し、公平・公正な運営を行った。	さとらんどにおける平等利用を確保するための方針に基づき、各取組を実施することで公平・公正な運営を確保したものと評価する。				
▼ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進 地球温暖化防止対策及び環境配慮の推進として、下記の取り組みを行った。①冷暖房期間・時間・温度・対象施設の調整、不要照明の消灯励行などの節約運動、これ以外の電気、水道、油、ガス等の使用の節約。②コピー用紙等の消耗品のグリーン購入ガイドライン指定品の使用。③7月環境マネジメント研修を実施。④省エネ法、温対法、札幌市環境マネジメントシステムに則り、各種報告書、各種帳票類を提出。⑤自転車使用を励行、保有車両の使用頻度抑制とアイドリングストップを実施。 なお、不要照明の消灯励行や冷暖房温度の調整、節水等については来園者にも協力を働きかける取り組みを行い、ご協力頂いた。	環境マネジメント研修等の取り組みを実施して省エネに努めた。又、職員だけでなく、来園者にも不要照明の消灯励行、節水等地球温暖化対策及び環境配慮の推進についての働きかけを行ってご協力頂いた。	各取組を行ったことでエネルギー使用量を必要最低限に留めたことを評価する。また、利用者にも消灯励行を行い協力を得るなど節電対策を積極的に行ったものと評価する。					

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

統括責任者である施設長の指示の下、副施設長2名で指示命令機能を分散し、非常時には統括・指揮機能の拡充を図る効果的な組織運営体制として事業の運営を行った。又、さとらんの業務を11の部門に分けて部門毎に部門長を配置し、業務毎に行き届いたサービスを提供した。職員が業務に対し同じ認識を持って質が高く同一のサービス提供を行うよう、又、業務毎の専門的な知識・能力を向上させサービスと業務品質の向上に寄与するよう研修計画を作成し、安全教育、マナー接客教育、個人情報保護研修、関係法令研修、消防訓練、防災教育、安全衛生研修、環境マネジメント研修、専門技術講習等、職員の教育・研修を行った。

質の高いサービス提供を目指し11部門を設置、部門長を配置して業務毎に行き届いたサービスを提供した。又、人材育成に向けて各種研修を実施した。

管理運営について、常により効率的・効果的な体制を検討し、年度ごとで体制の修正を行っている。また、サービス・業務品質の向上のために、職員の教育・研修に積極的に取り組むなど管理運営組織の強化・資質の向上に努めていたことも評価する。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

毎月の部門長会議において管理水準の向上に向けた協議を行った。又、業務遂行についても部門長会議で協議を行い、部門を横断した応援体制を構築して効率的な運営に努めた。安全対策・事故防止等についても協議を行い、部門毎に毎月実施した安全教育のうち組織全体に関する事項の情報共有等を行った。

定期的に部門長会議を開催し、全部門が情報を共有するとともに業務の応援や安全対策等について対応した。

随時業務の見直しを行うとともに即座に改善を行ったことなど、管理水準の向上に努めたことを評価する。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

清掃業務、警備業務、保守管理業務、修繕業務、冬期園内除雪等について第三者委託を行った。受託業者に対して必要な指導、指示、検査、確認を行い適正な業務遂行を実現した。委託にあたっては市内業者を積極的に活用(例:修繕工事において委託件数及び委託金額の75%以上を委託)した。障がい者の就労支援に協力するためにレンガ花壇の除草業務を知的障がい者施設へ委託した。

仕様書に基づいて適正な業務遂行を行うとともに、委託にあたっては市内業者の積極的な活用や障がい者施設への委託に配慮して第三者委託を行った。

本市の承認を得て受託者に指示・検査等を適正に実施したものと評価する。また、障がい者施設への業務委託は札幌市の障がい者施策に合致しており評価する。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回 4/20	大雪による第5駐車場雪堆積場について(夏季営業前の準備状況等)オニオン号不具合対応(バッテリー増設対応)
第2回 6/15	新型コロナウイルス感染拡大防止対応(マスク着用に関する変更内容)炊事広場喫煙場所(離れた場所に移動し、囲いを設ける)について
第3回 8/24	新型コロナウイルスの感染者増加のため、感染拡大防止の徹底(9月イベント実施前の注意喚起等)さっぽろ連携中枢都市圏との連携強化の検討
第4回 10/19	新型コロナウイルスの道内の感染者増加傾向について(感染予防対策を継続)ペット入園禁止アンケート調査実施報告
第5回 12/21	キッズコーナー運用開始に伴う安全対策継続新旧の指定管理者が年度末迄に業務の引継ぎを完了する書面を取り交わし札幌市に提出
第6回 2/15	3/13以降のマスク着用についての協議 農業支援センターの業務引継ぎについて

管理運営水準の維持・向上のため2か月に1回、運営協議会を実施した。運営協議会以外においても札幌市に管理業務の状況報告をこまめに行った。必要に応じて、随時、札幌市との打ち合わせ等を実施し、管理運営水準の維持・向上に向けた取り組みを滞りなく実施することができた。

定期的に運営協議会を実施し、業務報告や連絡事項及び管理運営上の問題点を協議し、業務の改善が行われていたことを評価する。また、管理運営水準の維持向上への取組を継続していることを評価する。

<協議会メンバー>  
札幌市経済観光局農政部農政課長、同農政係長、同担当職員  
指定管理者構成企業の本社担当責任者  
サッポロさとらんど施設長、同副施設長、同副施設長代行

	<p>▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)</p> <p>資金管理については、指定管理業務、自主事業毎の区分経理を実施、出金・入金の根拠資料を整備し、使途や取扱いについて透明性を確保し、日常から適切な資金管理を徹底した。 利用料金収入等の現金等の取扱いは、「現金等取扱規程」により適切な現金等の管理取扱いを行った。</p> <p>▽ 要望・苦情対応</p> <p>要望・苦情については対応マニュアルに基づいて対応。苦情は全職員に周知して改善等の対応を行い、必要に応じて職員への指導・研修を実施。 要望等には可及的速やかに対応した。 併せて、札幌市への報告も行った。</p> <p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <p>業務計画書・事業報告書を始め、業務日報、各営業前点検記録、業務の実施に関する帳簿や書類を適切に記録した。 各種アンケートによりセルフモニタリングを実施。アンケートの集計を毎月行って利用者ニーズの把握とセルフモニタリングに努めた。 又、毎月の管理運営業務報告書を始め、環境保全行動報告書、消防訓練等の報告書、施設に関する各種統計書類等を適宜、札幌市に提出した。 札幌市の検査に対しては、検査をスムーズに行えるよう必要書類の提示等、積極的に対応した。 施設の利用状況、セルフモニタリングの結果等を踏まえ、自己評価を実施して、以後の運営において管理水準の向上に努めた。</p>	<p>指定管理業務、自主事業の明確な区分経理を実施した。 適切な資金管理、現金管理を徹底し、透明性・公明性を確保した。</p> <p>苦情・要望への対応、札幌市への報告を実施し、利用者ニーズにも最大限対応した。</p> <p>仕様書で定められた書類等を適切に記録・保管した。各種アンケートを実施して利用者ニーズの把握、セルフモニタリングに努めた。 報告書類等、必要書類を適宜、札幌市に提出した。 札幌市の検査や確認・要請に対して、積極的に協力し、誠実に対応した。</p>	<p>資金・現金の管理について、適正に行われていたことを評価する。</p> <p>苦情・要望への対応、札幌市への報告について、適正に行われていたことを評価する。</p> <p>適正に記録、報告が行われたほか、アンケート等のセルフモニタリングもイベントごとに随時行い、運営協議会に速やかに報告が行われたこと等を評価する。</p>								
<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む)</p> <p>労働関係法令を遵守するとともに、労基署に就業規則や時間外労働・休日労働に関する労使協定等の届出を適切に行った。 職員の雇用環境の維持向上のため、空気環境測定等を実施した。 衛生管理者を選任し、毎月、労働安全衛生委員会を開催して職員の健康維持・労働災害の防止に努めた。</p>	<p>労働関係法令を遵守し、必要書類の届出を適切に行った。 雇用環境の維持向上、健康維持・労働災害の防止に努めた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>労働関係法令を遵守し、監督官庁への届出など適切に行われていることを評価する。</p>	A	B	C	D				
A	B	C	D								
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総合的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>各業務の実施にあたっては利用者、従事職員、近隣住民等の安全確保を最優先とし、十分に配慮した。事業の開始・終了時や毎日の始業前・終業後に園内の点検を実施して危険や施設の損壊等の異常が無いことを確認した。 開園時間中には、管理者(施設長、副施設長)が毎日2回園内を定期巡回し、職員も当該部門毎に巡回を実施して安全確保に努めた。 年間を通しての駐車場の無料開放等を実施して、市民サービスの向上と利用しやすい施設の実現に努めた。 札幌市又は第三者に損害を与えた場合に備え、仕様の水準を満たした「施設管理者賠償責任保険」や、「生産物賠償保険」に加入した。 各業務の問合せ先等、必要な連絡先を利用者に十分に案内し、担当職員が無線を携帯することによって最短の時間で連絡可能な体制を確保した。 夜間及び休園日についても「夜間緊急連絡先」や「職員緊急連絡網」を整備して連絡体制を確保した。</p>	<p>利用者の安全確保に常に配慮して施設・設備等の全般的な機能を良好に維持管理し運用した。 駐車場の無料開放等の利用者サービスを実施し、市民サービスについても十分な成果をあげることができた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>市民サービスの向上につながるよう、管理体制の構築と維持に努めていることを評価する。市民ニーズに答え、車イス貸出し場所を増やすなど、市民サービス向上に努めていた。 緊急対応や保険への加入など事故等発生時への備えが十分行われていることを評価する。</p>	A	B	C	D				
A	B	C	D								

	<p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>ア 衛生管理業務          第三者委託により実施し、必要な指導、指示、検査、確認等を行った。日常清掃(休園日を除く)と定期清掃、飲料水等の管理、空気環境測定等を実施し、清潔で健康的な環境を維持した。</p> <p>イ 警備業務          第三者委託により実施し、必要な指導、指示、検査、確認等を行った。機械警備の活用等により、効率的かつ適正な警備業務を遂行した。</p> <p>ウ 施設及び設備の保守点検業務          第三者委託により実施し、必要な指導、指示、検査、確認等を行った。計画的に保守点検業務を行ない、施設及び設備を良好に維持管理した。建物及び周辺の安全環境を保持し、利用者の安全を確保した。</p> <p>エ 飼養動物管理業務          関係法令を遵守し、管理業務を行った。衛生的な環境の維持に努め、家畜の健康状態をしっかりと把握した。馬の調教、糞尿の堆肥化等も仕様の水準を達成した。</p> <p>オ 緑地管理業務          緑地管理は仕様書の水準を達成した。芝刈りや施肥等を適切に行ない快適な環境を維持するように努めた。又、枯れた樹木の伐採や枝払い等を適切に実施した。</p> <p>カ 修繕業務          修繕工事については札幌市の承認を得て行った。早急かつ適切な対応により修繕を実施したので利用者の利用に支障がなかった。安全管理等にも充分配慮して修繕を実施したので事故等もなかった。</p> <p>キ 備品管理          備品は、利用者の利用に支障が生じる事の無いよう、常に保守点検を行った。又、不具合の生じた備品については札幌市に報告のうえ、随時修繕や代用品の確保等必要な対応を適切に行った。</p> <p>ク 駐車場管理          巡回等で駐車場利用車両の管理を行った。利用者が円滑に駐車できるよう案内・誘導看板を設置し、利用者の円滑な利用を確保した。</p> <p>▽ 防災          サッポロさとらんどが(大規模な火事における)広域避難場所であることも踏まえ、「防災計画書」に基づいて適切な防災体制を構築し、防災に努めた。「災害対応マニュアル」により災害の発生に備えると共に、4月と11月に消防訓練を、4月と7月に防災教育を実施して、災害発生時に適切な行動が行えるよう備えた。</p>	<p>施設・設備等の維持管理は仕様の水準を達成した。利用者のレクリエーションの場、憩いの場となるよう園内の清掃・芝生等の管理に努め、良好な環境を維持した。開設(平成7年)より二十数年経過しており、施設や設備が老朽化している中で、安全確保に向けてこまめに点検し、修繕対応を迅速に行った。備品を適切に管理し、結果を札幌市に報告した。</p> <p>日頃から研修や訓練を実施して防災に努めた。災害は、いつ発生するか予測できないので今後も怠りなく備えを続ける。</p>	<p>仕様書で規定する管理水準に基づいた管理を行っていたものと評価する。要求水準を大きく超えた芝生等管理や、高木となった樹木の適正管理のための剪定を実施した緑地管理など、市民が安全安心に憩うことのできる場の提供を行い、利用者のニーズに応えるような管理を行ったことを高く評価する。また、機械類の備品が老朽化する中で、日々の管理を適切に行っていることを評価する。</p> <p>日頃から防災体制の確立に努めていたことを評価する。</p>								
<p>(4)事業の計画・実施業務</p>	<p>▽ 農業体験に関する業務</p> <p>ア 収穫体験業務          仕様の水準に従い、収穫体験をすることができる農作物を栽培して利用者の体験に供した。ホームページに体験予定カレンダーとその日収穫できる作物を毎日掲載し、利用者の利便性に配慮した。体験日数は前年度比で171%(50日)増加した。そのため参加人数は52,416人と前年度(48,828人)に比べて増加した。</p>	<p>収穫体験は、仕様の水準に従い、利用者の体験に供した。コロナ禍による休業があった前年度に比べて、今年度は休業なく、体験日数は171%と増加し、参加人数は107%と増加した。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1125 1518 1173 1556">A</td> <td data-bbox="1173 1518 1220 1556">B</td> <td data-bbox="1220 1518 1268 1556">C</td> <td data-bbox="1268 1518 1300 1556">D</td> </tr> <tr> <td colspan="4" data-bbox="1125 1556 1300 1863">                 適切な圃場管理の実施、収穫可能作物の細やかな情報提供等により、非常に多くの方が利用し、参加人数が本指定期間のうち、最も多かったことを評価する。             </td> </tr> </table>	A	B	C	D	適切な圃場管理の実施、収穫可能作物の細やかな情報提供等により、非常に多くの方が利用し、参加人数が本指定期間のうち、最も多かったことを評価する。			
A	B	C	D								
適切な圃場管理の実施、収穫可能作物の細やかな情報提供等により、非常に多くの方が利用し、参加人数が本指定期間のうち、最も多かったことを評価する。											

<p>イ 栽培・収穫・加工体験業務 仕様の水準に従い、栽培・収穫・加工等を体験できるコースを10コース実施した。定員数は176組(前年度165組、11組増)とした。 全体の参加組数は176組で定員の98.8%となり、前年度の97.5%(165組)から1.3%増加し、ほぼ満員となった。</p>	<p>栽培・収穫・加工体験業務を仕様の水準に従い、10コースで実施した。参加組数は定員の98.8%(前年度比1.3%増)であり、ほぼ満員となった。</p>	<p>新しい体験内容に取り組むなど、魅力向上に努めたことを評価する。 感染症対策に取り組みながら、柔軟に実施可能な業務を模索・継続する姿勢も評価できる。</p>
<p>ウ 学校教育との連携業務 札幌市内の小学校等を対象に農産物の知識を習得することを目的とした事業を実施した。 畑については、じゃがいも、エダマメ、サツマイモ、トウモロコシ等の農産物の植え付け・栽培・収穫・調理等の体験を学習する内容で実施した。今年度は、コロナ禍により減少していた参加学校数が回復してきており、体験学習を行ったのは40校で前年度(29校)比11校増となった。 水田学習は昨年はコロナ禍により田植えが中止となり、稲刈りのみ実施したが、今年度は田植え、稲刈りとも実施した。体験学習を行ったのは前年比3校増の9校となった。 全体で前年度比14校増の49校が体験学習を行った。感染症対策に取り組ながら体験を実施した。</p>	<p>仕様書の要求水準(25校以上)を大きく超える49校が参加した。</p>	<p>積極的な働きかけにより、要求水準を大きく超える多くの学校が利用していることを高く評価する。 感染症対策に取り組みながら、柔軟に実施可能な業務を模索・継続する姿勢も評価できる。</p>
<p>エ 市民農園管理業務 貸出期間・利用時間、利用者の公募と抽選での決定、園内で製造した堆肥の活用等、仕様書の要求水準を満たして市民農園管理業務を行った。 適切な管理・運営を行うとともに、栽培指導等を充実させたので、利用者アンケートでは98.2%が「満足」及び「やや満足」と回答した。</p>	<p>仕様書の水準を達成して適切な管理・運営を行うとともに、栽培指導等を充実させて利用者アンケートで高い評価を得た。</p>	<p>適切な管理・運営を行い、栽培指導など高いサービスを維持し、また伝統野菜の栽培展示により札幌の農業を啓発したことを評価する。</p>
<p>オ、カ 手づくり体験業務と農業・畜産等講座 仕様書の水準に従い、バターづくりやアイスクリームづくり等の各種手づくり体験を企画し、手づくり体験参加者は7,993人で前年度比約340%(5,640人増)となった。 料理、農産・畜産加工、工芸等の各種講座も仕様書の水準に従って企画し、講座参加者は1,784人で前年度比146%(568人増)となった。 講座は、利用者ニーズに応えるために専門分野で活躍する多彩な顔触れの外部講師を招いて幅広い内容で実施した。</p>	<p>手づくり体験、講座とも新型コロナウイルス感染拡大防止対応をしっかりと行って実施した。手づくり体験参加者は7,993人で前年度比約340%(5,640人増)。講座参加者は1,784人で前年度比146%(568人増)となった。</p>	<p>利用者ニーズを適切にとらえ、開催時間を変更するなど、市民サービスの向上に努めたことを高く評価する。 感染症対策に取り組みながら、業務を実施していたことを評価する。</p>
<p>▽ 緑とふれあい、憩うことのできる場を市民に提供する業務</p>		
<p>ア パークゴルフ場運営 良好なプレー環境を維持するため、施設の点検や補修等を実施し、常に3コースを利用に供した。 利用者は9,659人(前年度比5,706人増)、昨年対比約244%となった。</p>	<p>仕様書に基づき適切な管理・運営を行い、前年と比較し利用者数は増加した。</p>	<p>芝生管理など、適正な管理を行い、コロナ禍による利用者数減少から復調していきつつあることを評価する。</p>
<p>イ SLバス 定期点検や日常点検をしっかりと行って事業を運営し、無事故で運行を終えた。 新車「オニオン号」が導入され、「ポテト号」と2台体制となった為、利用者数は44,145人となり、前年度対比475%(34,857人増)となった。</p>	<p>仕様書に基づき適切な運行を行った。SLバス2台体制となり利用者数は大幅に増となった。</p>	<p>仕様書に基づき適正な管理を行い、また感染症対策に取り組みながらの業務実施により、利用者数増となったことを評価する。</p>
<p>ウ 引き馬 馬の体調を把握しながら、また安全確保に留意して運行し、事故無く事業を終了した。 利用者数は6,823人で前年度比137%(3,944人増)と大幅に利用者数を増やした。</p>	<p>仕様書に基づき適切な運行を行った。前年と比較し利用者数は増加した。</p>	<p>動物の体調などを考慮し、適正な管理を行い、また感染症対策に取り組みながらの業務実施により、利用者数増となったことを評価する。</p>

<p>エ 馬車 馬の体調を把握しながら、安全確保に留意して運行した。 利用者数は8,894人で前年度比190%(5,829人増)と大幅に利用者数を増やした。</p>	<p>仕様書に基づき適切な運行を行った。前年と比較し利用者数は増加した。</p>	<p>動物の体調などを考慮し、適正な管理を行い、また感染症対策に取り組みながらの業務実施により、利用者数増となったことを評価する。</p>
<p>オ レンタサイクル 総合整備点検や日常点検を行い安全管理に充分注意して事故なく事業を運営した。 利用者数は22,259人で前年度比284%(14,417人増)と大幅に利用者数を増やした。</p>	<p>レンタサイクルは仕様書に基づき事故なく実施した。前年と比較し利用者数は増加した。</p>	<p>仕様書に基づき適正な管理を行い、また感染症対策に取り組みながらの業務実施により、利用者数増となったことを評価する。</p>
<p>カ 炊事広場 コロナ禍で昨年度まで炊事広場を閉鎖していたが、今年度は第5駐車場の札幌市雪堆積場利用終了後の6月1日から利用開始した。利用組数は2,108組となった。</p>	<p>コロナ禍で昨年度まで炊事広場を閉鎖していたが、今年度は6月より利用再開し、利用組数2,108組となった。</p>	<p>札幌市雪堆積場への協力により、炊事広場の利用に制限がかけられながら、新規木製ベンチを設置するなど市民サービスの向上に努めたことを評価する。</p>
<p>▽ 農業者と消費者の交流の場を提供する業務</p> <p>ア 「ファーマーズマーケット事業」運営 さとらんどセンター前、センターポーチ、交流館等で市内及び近郊農家による直売方式で実施した。利用者からの意見や要望を聞き、その声を事業運営に反映させた。ホームページ等で「ファーマーズ会員募集」の取り組みを行なったが、今年度は応募がなかった。 9回行ったイベント開催日と他事業を行った土・日・祝日に会員自ら生産した農産物を対面販売し、仕様書の要求水準に則して事業を運営し、延べ出店件数は123件(前年対比72件増)となった。</p> <p>イ 「札幌市の農業施策との連携事業」運営 札幌市の「地産地消推進事業」や札幌近郊の農業関連団体との連携を図り、交流館を積極的に活用して「さっぽろとれたてっこ」、及び、石狩管内等の農畜産物のPR・展示・販売を実施し、来園者に対して地産地消への理解を促す取り組みを行った。 また、札幌市及びさっぽろ連携中枢都市圏の市町村との連携を図り、12市町村の情報を発信する取り組みを行った。 今年度は概ねコロナ禍前の利用者数にまで回復する結果となった。</p>	<p>イベント開催日などに仕様書の要求水準に則し事業を運営した。出店件数は123件(前年対比72件増)となった</p> <p>交流館で「さとらんど市場」の運営を行って札幌市内や石狩管内等の農畜産物のPR・展示・販売を実施した。また、札幌市及び札幌連携中枢都市圏の市町村との連携を図り、情報を発信した。今年度は概ねコロナ禍前の利用者数にまで回復する結果となった。</p>	<p>ホームページを利用し、ファーマーズ会員の増加に努めたこと評価する。また感染症対策に取り組みながらの業務実施により、出店数増となったことを評価する。</p> <p>札幌産の農産物を主とした新鮮な地産農作物の販売により、地産地消に尽力したことを評価する。また、さっぽろ連携中枢都市圏の農産物を中心とした積極的なPRにより、市町村活性化に寄与したことを評価する。</p>
<p>▽ 農業に関する情報収集及び提供業務</p> <p>ア 農業に関する情報の収集・提供業務 「さっぽろ農学校入門コース」の講義を始め、家庭菜園や市民農園に取り組み市民にとって有益な農に関する情報を収集し、ホームページで提供した。</p> <p>イ 農業振興イベント業務 今年度は17(主催9、共催8)の農業振興イベントを開催し、イベント入園者数は155,750人、前年度(16,800人)比約927%(189,950人増)となった。 昨年度は、コロナ禍により主催イベントは6件、共催イベントはすべて中止となったが、今年度は感染防止対策に取組ながら、ほとんどの計画されたイベントを開催できた。</p>	<p>ホームページを有効活用して農業情報を提供した。</p> <p>今年度は農業振興イベントを計17開催し、前年度比約927%(189,950人増)となった。</p>	<p>ホームページを有効活用し、わかりやすい農に関する情報を提供していることを評価する。</p> <p>昨年度はコロナ禍により多くのイベントが中止となったが、今年度は感染防止対策に取組ながら、魅力あるイベントを開催に努め、入園者増となったことを評価する。</p>



(6)付随業務	<p>▽ 広報業務</p> <p>広報活動には重点的に取り組んだ。マスコミ各社に積極的にイベント等の情報提供を行い、テレビで6回(前年度比2回減)、ラジオで2回(前年度比±0回)報道され、新聞では10回(前年度比1回増)記事が掲載された。さとらんどをPRするためにSNSでの取り組みを継続し、Facebook、Instagram、LINEにて、園内情報を始め、各事業のお知らせや現況等を写真や動画で発信した。昨年に続き、フォトコンテストを開催する等、情報発信と広報の充実に努めた。</p>	<p>マスコミ各社へ積極的に働きかけを行ってテレビや新聞で数多く報道して頂いた。園内情報を始め、各事業のお知らせや現況等を写真や動画で発信し、広報の充実と情報発信の強化に努めた。SNSでの取り組みも継続して実施した。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">テレビ、新聞等のマスメディアのほか、子育て情報誌へ積極的に情報提供し、入園者数増となるよう努めたことを評価する。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">また、さとらんど公式SNSを運営し、情報発信に努めたことを評価する。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	テレビ、新聞等のマスメディアのほか、子育て情報誌へ積極的に情報提供し、入園者数増となるよう努めたことを評価する。				また、さとらんど公式SNSを運営し、情報発信に努めたことを評価する。			
	A	B	C	D											
テレビ、新聞等のマスメディアのほか、子育て情報誌へ積極的に情報提供し、入園者数増となるよう努めたことを評価する。															
また、さとらんど公式SNSを運営し、情報発信に努めたことを評価する。															
<p>▽ 引継ぎ業務</p> <p>次期指定管理者にセンターハウス内に準備室を設置してもらい、当社スタッフより直接引き継ぎ・ヒアリングを行ってもらいながら、確実な引き継ぎ業務を実施することが出来た。</p> <p>次期指定管理担当者に当社従業員の継続雇用を依頼し、一部の従業員を除き多数再雇用頂いた事により、R4年度中から次年度に向けた業務を実施してもらった事により、スムーズな業務引継ぎを行うことが出来た。</p>	<p>次期指定管理者と確実な引き継ぎ業務を実施することが出来た</p>	<p>次期指定管理者と密に調整し、市民の利用に影響なく業務の引継ぎを行ったことを評価する。</p>													
2 自主事業その他															
▽ 自主事業	<p>売店事業 (利用者約15,700人 売上約836万円)</p> <p>施設使用料収入 0万円</p> <p>自動販売機事業 手数料収入 183万円</p> <p>パークゴルフ用具貸し出し事業 収入 70万円</p> <p>おもしろ自転車事業 収入 469万円</p> <p>牧場動物のえさの販売事業 収入 247万円</p> <p>キャラクターグッズの販売事業 収入 1.9万円</p> <p>昨年度はコロナ禍による3か月強の休業があったが、今年度は休業なく事業を実施できた。また、そのため、収入は計画よりも約133%に多い1,011.8万円(計画760万円)となった。</p> <p>注:令和元年度まで実施していたレストラン事業は、レストラン業者がコロナ禍等の影響により令和元年度で撤退し、その後、自主事業として営業するレストラン業者が確保できないため、令和2年度令和3年度に引き続き、令和4年度も事業を休止した。</p>	<p>自主事業は、さとらんどの設置目的を踏まえて計画し、一般の利用を妨げないよう配慮するとともに、市民が利用しやすい料金を設定して、適切に実施した。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">さとらんどの設置目的を踏まえ、また感染症対策に取り組みながら、事業を実施し、計画よりも大幅に利用率増となったことを評価する。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">売店事業においては、障がい者活動団体による運営を行い、福祉協働を実施したことを評価する。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	さとらんどの設置目的を踏まえ、また感染症対策に取り組みながら、事業を実施し、計画よりも大幅に利用率増となったことを評価する。				売店事業においては、障がい者活動団体による運営を行い、福祉協働を実施したことを評価する。			
	A	B	C	D											
さとらんどの設置目的を踏まえ、また感染症対策に取り組みながら、事業を実施し、計画よりも大幅に利用率増となったことを評価する。															
売店事業においては、障がい者活動団体による運営を行い、福祉協働を実施したことを評価する。															
<p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <p>修繕工事や冬季園内除雪等の第三者委託、SLバスや遊具、自転車等の点検、手づくり体験の原材料、印刷物、ガソリン・A重油・灯油・ガス・電気等の購入を市内企業に発注し、市内企業の積極的な活用を図った。</p> <p>封筒等の印刷物を障がい者施設へ発注する等、福祉施策への配慮を心掛けた。障がい者の就労拡大に協力する目的で毎年知的障がい者施設へ委託していた花壇の除草業務及び自主事業の売店業務を実施した。</p>	<p>市内企業の活用に積極的に取り組んだ。</p> <p>障がい者施設へ除草業務の委託や印刷物の発注を行う等、福祉施策への配慮を心掛けた。</p>	<p>適切な配慮を念頭に事業展開を行ってきたものと評価する。</p>													

3 利用者の満足度					
▽ 利用者アンケートの結果					
		A	B	C	D
実施方法	4月～3月に実施。 一般利用者向け、各種体験・講座の参加者向け、イベント開催時の利用者向け、農学校・市民農園等の個別事業の参加者向け等、利用状況に応じてアンケートを実施した。 アンケートの有効回答の総数は1259通。	<p>全ての項目で仕様書の要求水準である80%以上の満足度を達成した。イベント以外の3項目については、仕様書の目標を10%以上上回っており満足度の高い運営が出来た。不満のご意見は全てのアンケートで4%未満であり、特にイベント以外の3項目では1%未満と少なかった。イベントのアンケート結果のみ低い数値となっている。</p> <p>各事業ごとに詳細にアンケートを実施し、利用者意見の分析及び事業の改善に活用し、総合満足度が80%を上回ったことを評価する。各事業で工夫を凝らして市民サービスの向上に努めた結果により、指定管理者としての目標値90%をイベント事業以外では、達成したと考える。</p>			
結果概要	<p>・総合満足度は、不満・少し不満と回答された方が0.4%、普通が7.8%、満足・とても満足が91.8%だった。満足・とても満足は仕様書の目標を11.8%超え、満足度は高かった。</p> <p>・職員の接客に関するアンケートは、悪かった・あまり良くなかったが1%未満。普通が8.7%、大変良かった・まあ良かったが91.2%で、大変良かった・まあ良かったは仕様書の目標を11.2%超え、満足度は高かった。</p> <p>・各種体験・講座参加者の満足度は、不満・やや不満が1%未満、普通が2.9%、満足・やや満足が96.8%だった。満足・やや満足が仕様書の目標の80%を16.8%も超え、満足度は非常に高かった。</p> <p>・イベントの満足度は、不満・やや不満が1.9%、普通が18%、満足・やや満足が80%で仕様書の目標と同じだった。</p> <p>・イベントのアンケートのみ低い数値となっているが、コロナ禍の影響を最も受けたのがイベントであり、内容を制限して開催したことが反映された結果であると受け止めている。</p> <p>・利用料金についても高いと回答している利用者が少ないため、適切な範囲にあるものとする。</p>				
利用者からの意見・要望とその対応	<p><b>【要望】</b> 講座の増設・新設を希望する声が多かった。 ①コーヒー講座の増設の要望が多数あった。 ②韓国料理・キムチ漬けの増設の要望があった。 ③アイスクリーム体験の増設の要望があった。</p> <p><b>【対応】</b> 次期指定管理者に要望内容を引き継ぎました。</p> <p><b>【要望】</b> キッズコーナーに関する要望があった。 ①キッズコーナーのおもちゃを販売してほしい。</p> <p><b>【対応】</b> 次期指定管理者に要望内容を引き継ぎました。</p>				

4 収支状況							
▽ 収支 (千円)				A	B	C	D
項目	R4年度計画	R4年度決算	差(決算-計画)				
収入	289,563	301,655	12,092	<p>・収入について 利用料金収入は、約428万円の増収だった。 その他収入は、計画比451万円の増収だった。 指定管理業務収入全体では計画比約957万円の増収だった。 自主事業収入は、計画比約251万円の増収だった。 収入全体では、計画比約1,209万円の増収となった。</p> <p>・支出について 指定管理業務支出は計画比723万円の増額であった。 自主事業支出は計画比約40万円の増額であった。 支出全体では約763万円の増額となった。</p> <p>・収支について 全体の収支は約431万円の黒字で、内訳は、指定管理事業が約416万円、自主事業が約15万円の黒字であった。</p>			
指定管理業務収入	281,963	291,537	9,574				
指定管理費	237,812	238,586	774				
利用料金	17,748	22,037	4,289				
その他	26,403	30,914	4,511				
自主事業収入	7,600	10,118	2,518				
支出	275,974	283,607	7,633				
指定管理業務支出	268,949	276,179	7,230				
自主事業支出	7,025	7,428	403				
収入-支出	13,589	18,048	4,459				
利益還元	0	0	0				
法人税等	200	320	120				
未払い消費税	13,200	13,415	215				
純利益	189	4,313	4,124				
▽ 説明							
<p>▼収入について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用料金収入は、ふれあい(レク・引馬・馬車)などが順調に収入を伸ばし、計画比774万円の増収だった。</li> <li>・その他収入は、昨年に引き続き農園が収入を伸ばし、イベントや冬レクもほぼ計画通りに実施できたことにより、計画比約451万円の増収だった。</li> <li>・自主事業収入は、えさやり、おもしろ自転車が順調に収入を伸ばし、事業計画比約251万円の増収だった。</li> </ul> <p>▼支出について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度のような休館やイベント等の自粛なども無く、指定管理業務、自主事業とも確実実行出来たことにより、人件費、物件費とも予算を上回った。指定管理業務で計画比約723万円の増額、自主事業で計画比40万円の増額となった。</li> </ul> <p>▼収支について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の影響も落ち着いた事や、光熱費等の補填や昨年度の実績から支出の抑制による効果もあり、収入全体は計画に対し大幅な増収となった。</li> <li>・全体の収支は約431万円の黒字で、内訳は、指定管理事業の黒字が約416万円、自主事業の黒字は約15万円であった。</li> </ul>							

<確認項目> ※評価項目ではありません。			
▽ 安定経営能力の維持 当団体の財務状況等に問題は無く、安定経営能力を維持している。		適	不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 各条例の規定に則り、全て適切に対応した。		適	不適

### Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>全体的に適切な管理運営を実施した。コロナ禍ではあったが、前年度のような新型コロナウイルス感染拡大防止による休業もなく、ほとんどの事業で売り上げ金額、参加者数は前年度を大きく上回った。</p> <p>利用者アンケートによる満足度は、4項目全てで仕様書の目標値である80%を達成した。中でも総合満足度、職員の接遇に関する満足度、各種体験・講座等に関する満足度の3つは90%以上を記録し、満足度の高い運営を達成出来た。</p> <p>広報活動には重点的に取り組み、マスコミ各社へ積極的に働きかけを行ってテレビや新聞で数多く報道して頂いたが、前年度と同レベルの報道回数となった。また、SNSの取り組みを昨年同様実施しさとらんどの魅力のPRに努めた。</p> <p>以上を総合的に考慮し、良質で良好な管理運営を実施したと判断する。</p>	<p>指定管理者更新により、来年度からは別事業者がさとらんど指定管理を実施することとなったため、取組事項は無し。</p>
【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>新型コロナ感染症対策として昨年度までは施設の閉鎖等(休業やイベントの中止等)の対応が必要とされたが、今年度は施設の閉鎖なく運営できた。しかし、まだ市民の施設利用に対する抵抗感が生じており、また施設管理者として引き続き密を避けるなどの感染症拡大防止に配慮した事業の実施が必要とされるといった状況の中、平常時とは異なる工夫が必要なさとらんどの管理運営であったと思う。</p> <p>そのため、昨年度及びコロナ禍以前の比較は困難な状況ではあるが、実施事業全般について、適切な管理運営を行っており、設置目的及び市民要求を満たした事業展開を行っていたと考えられる。当初計画通りの事業実施が困難である中で、市や関係行政と調整し、適切な管理運営を行ったことは評価できる。また、自主事業に関しても創意工夫しながら利用者増加に貢献していることなどを評価する。</p> <p>屋外活動への利用者ニーズが高くなり、収穫体験事業において1日あたりの利用人数が激増する等、施設管理者としてその変化に対応するよう工夫し、利用者及び収入の増、及び農業振興に寄与する事業実施ができたことを高く評価する。</p>	<p>指定管理者更新により、来年度からは別事業者がさとらんど指定管理を実施することとなったため、改善指導・指示事項は無し。</p>